K61-904-002-03

MMI ディスポ加圧バッグ
取扱説明書

2015 年 4 月 23 日改訂

村中医療器株式会社

はじめに

この度は、MMI ディスポ加圧バッグをご購入いただき、誠にありがとうございます。

本取扱説明書は、MMI ディスポ加圧バッグの正しい取扱方法について説明しています。

MMI ディスポ加圧バッグを正しくご活用いただくために、ご使用の前に必ず本書をお読みください。

※お読みになった後は、お使いになるときにいつでも見られるよう、大切に保管してください。

目次

1.　安全上の警告・注意

使用する前に、この「安全上の警告・注意」を、よく読んで、正しくお使いください。

※ ここに示した注意事項は、製品を安全かつ適正に使用して、使用者等への危害や損害を未然に防止するためのものです。

※ 危害や損害の大きさと切迫の程度を明確にするため、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の二つに区分して示しています。

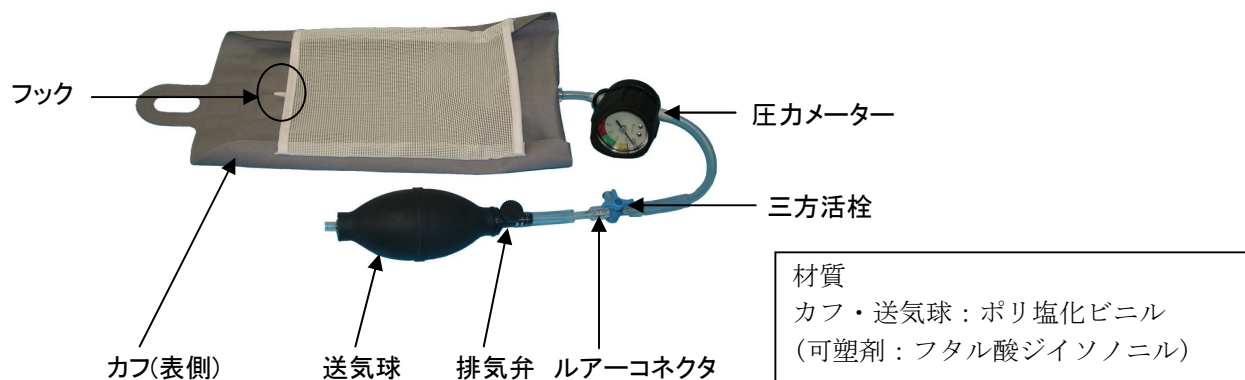
図記号の例	
警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重症を負うことが想定される内容を示します。
注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。
	禁止（してはいけないこと）を示します。
	強制（必ず守ること）や指示を示します。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告

	1. 本品は、輸液用ソフトバッグに外から一定圧を加えることによって、輸液の滴下を調整するバッグです。それ以外の目的で使用しないでください。 2. 本品の二次的加工をしないでください。 3. 本品は１回限りの使用で、再使用しないでください。 4. 適応容量(500ml 又は 1000ml)以外の輸液用ソフトバッグを使用しないでください。 5. 過剰な加圧により、製品機能の低下及び破損のおそれがありますので、40kPa を超える加圧をしないでください。 6. 本品に、同時に複数の輸液バッグを入れないでください。
	1. 空気が封入されていない輸液バッグを使用してください。 2. やむなく空気が封入されている輸液バッグを使用する場合は、使用前に輸液バッグ内の空気をじゅうぶん抜いてから使用してください。空気塞栓症が発生するおそれがあります。 3. 輸液量の減少に伴い加圧力が低下しますので、圧力をこまめに確認し、必要に応じて再度加圧してください。
	類似機器の有害事象 カフの破損によって、輸液バッグにかかる圧力が急激に低下し、輸液滴下量が減少したため、患者に有害事象を生じたという報告があります。

2.　製品概要と各部・付属品の名称・構造

本品は、輸液用ソフトバッグに外から一定圧を加えることによって、輸液の滴下を調整するバッグです。

注文コード	品　番	商品名
502-005-08	M10171	MMI ﾃﾞｨｽﾎﾟ加圧ﾊﾞｯｸﾞ,500ml
502-005-09	M10172	MMI ﾃﾞｨｽﾎﾟ加圧ﾊﾞｯｸﾞ,1000ml

3.　使用前の準備に関する事項

カフ、フックに破損等がないか点検してください。フックの破損により、輸液バッグの落下が起こり、患者への輸液ラインに異常をきたす可能性があります。

4.　一般的な使用方法とその注意事項

＊＊　三方活栓を用いる場合　＊＊

1)　送気球のルアーコネクタを三方活栓に挿入し、確実に接続するまで回してください。

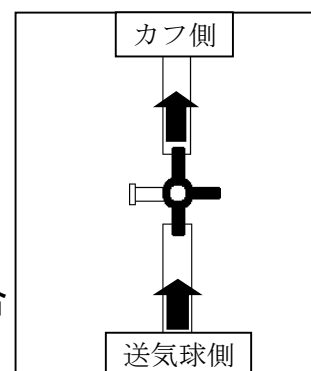
締めすぎないように注意してください。

2)　輸液バッグの液量が確認できるようカフを表にして広げ、輸液バッグをカフのメッシュ部分に挿入し、フックに確実に取り付けてください。

輸液バッグは、均一に圧がかかるようカフに挿入してください。

3)　カフをガートル棒等に吊り下げてください。

4) 三方活栓のコックを回し、右図の位置に合わせてください。

※送気の場合

5) 送気球の排気弁を時計方向に回転させ、排気弁を閉じてください。

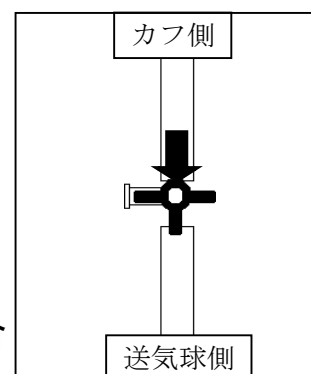
6) 送気球を繰り返し圧迫して、カフを必要な圧力まで膨張させてください。

	40kPa を超える加圧をしないでください。 ※推奨圧力設定は 25～40kPa です。

7) 三方活栓のコックを時計方向に回転させ、右図の位置に合わせて、カフの圧力を保持してください。

	漏れがないか、圧力メーターの指針を確認してください。

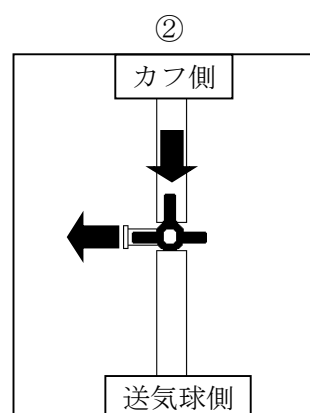
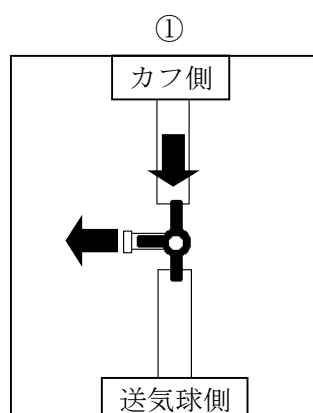
カフ側

送気球側

8) 排気をする場合は、三方活栓のコックを回転させ、下図の①又は②の位置に合わせてください。

①

②

※排気の場合

警告

	カフを圧迫して排気を促進する際は、必ず本品から輸液バッグを取り出してから、若しくは輸液ラインが患者体内へと続いていないことを確認してから行ってください。

＊＊　三方活栓を用いない場合　＊＊

本品は三方活栓を用いずに使用することも可能です。

1）圧力メーター側のコネクタから三方活栓を取り外し、送気球のルアーコネクタと直接接続してください。

	締めすぎないように注意してください。

2）輸液バッグの液量が確認できるようカフを表にして広げ、輸液バッグをカフのメッシュ部分に挿入し、フックに確実に取り付けてください。

	輸液バッグは、均一に圧がかかるようカフに挿入してください。

3）カフをガートル棒等に吊り下げてください。

4）送気球の排気弁を時計方向に回転させ、排気弁を閉じてください。

5）送気球を繰り返し圧迫して、カフを必要な圧力まで膨張させてください。

警告

	40kPa を超える加圧をしないでください。 ※推奨圧力設定は 25～40kPa です。

6）排気をする場合は、送気球の排気弁を反時計方向に回転させてください。

警告

	カフを圧迫して排気を促進する際は、必ず本品から輸液バッグを取り出してから、若しくは輸液ラインが患者体内へと続いていないことを確認してから行ってください。

5.　保管方法に関する事項

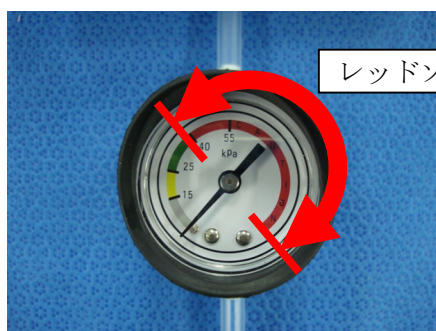
1）保管方法

清潔で良好な乾燥状態を保てる場所で保管してください。

2）有効期間

製造日より３年間[自己認証（当社データ）による]。

6.　技術仕様

加圧範囲：0～55kPa
加圧限度：40kPa

圧力メーターの指針がレッドゾーン(40kPa 以上)に達するような加圧をしないでください。

7.　アフターサービスとその連絡先に関する事項

製造販売業者：　村中医療器株式会社

〒594-1157　大阪府和泉市あゆみ野二丁目８番２号

TEL　0725-53-5546　　http://www.muranaka.co.jp